

ニュース

動画

News Up

特集

スペシャルコンテンツ

NEWS WEB EASY

新着

社会

気象・災害

科学・文化

政治

ビジネス

国際

スポーツ

暮らし

地域

台風12号

台風 警戒点

アメフト危険行為

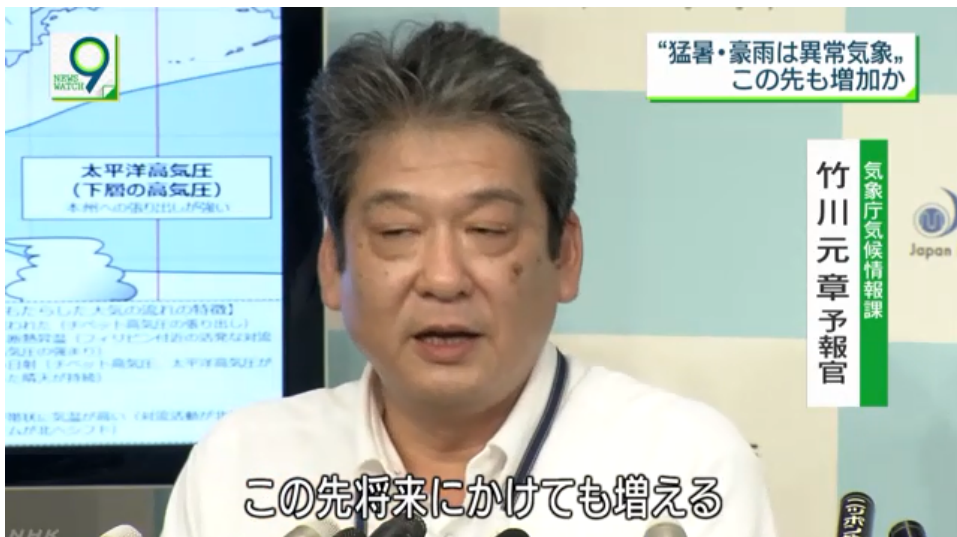
熱中症

トランプ大統領

東京五輪・パラ

夏の甲子園

注目ワード一覧を見る



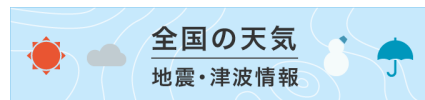
7月の猛暑と豪雨「異常気象だったと考えられる」気象庁

2018年8月1日 18時04分 気象

先月は平均気温が東日本で統計開始以来、7月としては最も高くなったほか、西日本も過去2番目に高くなり、記録的な暑さとなりました。また、梅雨前線や台風の影響で西日本を中心に記録的な豪雨となり、72時間の降水量が全国120余りの観測点で、統計開始以来最も多くなるなど記録づくめの月となり、気象庁は「異常気象だったと考えられる」としています。今月中旬にかけて猛暑が続く見込みで、熱中症に十分注意が必要です。



気象庁によりますと、先月は、8日ごろにかけて活発な梅雨前線や台風の影響で全国的に大雨となりました。



気象 [データマップ](#)

気象 [防ごう熱中症](#)

ソーシャルランキング

この2時間のツイートが多い記事です



1

きょうも猛暑 39度の予想も 熱中症に厳重警戒を



2

白昼に王冠盗まれる「ジェームズ・ボンド そのもの」



3

小池知事 豊洲市場の“安全宣言”へ



4

フランス 路上セクハラに罰金40万円 議会で法案可決



5

香りの苦しみ

もっと見る

アクセスランキング

特に西日本を中心に大量の水蒸気が流れ込んで記録的な豪雨となり、各地で甚大な被害が出ました。

72時間に降った雨の量は、高知県の馬路村魚梁瀬で1319.5ミリ、岐阜県郡上市ひるがので868ミリ、広島県呉市で465ミリなどとなり、全国122の観測点で統計を取り始めてから最も多くなりました。

さらに、その後は、東日本と西日本を中心に勢力の強い高気圧に覆われて猛烈な暑さが続きました。

23日には、埼玉県熊谷市で41度1分を観測し、国内で最も高い気温の記録を更新したほか、東京・青梅市で40度8分まで上がるなど、先月は、全国にある108の観測点で過去最も高い気温を観測しました。

この結果、平均気温は、いずれも平年と比べて、東日本で2度8分高くなり昭和21年に統計を取り始めてから7月としては最も暑くなったほか、西日本では1度6分高くなり、7月としては過去2番目に高くなりました。

また、日照時間も東日本の日本海側で平年のおよそ1.8倍に達し、統計開始以来、最も多くなるなど、記録づくめの1か月となりました。

これについて気象庁気候情報課の竹川元章予報官は、「7月の豪雨と猛暑は、30年に1度以下しか発生しない現象とみられ、『異常気象だった』と考えられる。地球温暖化が進む中、この先も顕著な現象が起こる可能性があり、注意が必要だ。また、今月中旬にかけて気温が高い状況が続く見込みで、熱中症に十分注意してほしい」と話しています。

この記録づくめとなった7月の天候が社会に大きな影響を与えたとして、気象庁は、専門家で作る「異常気象分析検討会」の臨時の会合を今月10日に開き、原因やメカニズムなどについて詳しく分析することにしています。

関連・注目ワード

気象 熱中症 台風12号 台風警戒点 アメフト危険行為 トランプ大統領
東京五輪・パラ 夏の甲子園

[注目ワード一覧を見る](#)

注目のコンテンツ

検証・西日本豪雨 ～何が生死を分けたのか～ クローズアップ現代+ 7月31日

サイエンスZERO 「異常気象に立ち向かえ 異分野からの挑戦！」
NHKオンデマンド 10月8日

異例のルート 台風12号 高波被害が各地で… ニュースウオッチ9 7月30日

[気象・災害ニュース一覧へ戻る](#)

この24時間に多く読まれている記事です



1

メキシコで旅客機が離陸直後に墜落
多くのけが人

2



通りすがりでセクハラ
受け殴られた女性
映像を公開 フランス

3



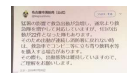
“「ライドシェア」増
えすぎで渋滞” NYで
規制へ

4



小池知事が豊洲市場の
安全宣言

5



「救急車でコンビニ」
消防局の投稿に好意的
な反応相次ぐ

[もっと見る](#)